



2025年  
(令和7年)  
春号  
Vol.18

枚方市議会議員

# 奥野みか

すべての人が、「今」を輝いて  
生きていける社会をつくる

- なぜ、枚方市駅周辺の再整備を進めなければならないのか
- 現在と将来の市民のためになる判断を～ダブル移転のゴリ押しにNO
- 奥野みかの一般質問(9月・12月)
- 教えて 市駅周辺再整備Q&A
- 決算特別委員会(10月)

## なぜ、枚方市駅周辺の再整備を進めなければならないのか

～まずは暮らしの  
安全・安心～

### 皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

インフルエンザ等が猛威を振っています。皆さま、感染症にはくれぐれもご注意ください。

さて、昨年9月には、京阪枚方市駅直結の複合施設・ステーションヒル枚方の商業施設や、枚方市の行政サービスフロアがオープンしましたが、皆さま、どのように感じておられますか。ご意見・ご感想等々、お聞かせいただければと思います。

こうして、③街区と呼ばれるこのエリアで進められている市街地再開発事業で残るのは、枚方市駅北口駅前広場の完成だけになりました。

一方、枚方市役所や旧市民会館のある④街区と、市庁舎分館や旧北河内府民センターのある⑤街区をどのように再整備するのかについては、市の計画に対して市議会・市民からの疑問や反対の声も多く、市が説明責任を果たすことができなかつたことから合意を得るに至らず、具体化は進んでいません。

枚方市駅周辺の④街区、⑤街区にある多くの公共施設は、老朽化が進み、耐震性能にも課題があり、市民生活の安全・安心のため必須の公共サービスの拡充や、大規模災害への備えを確実にするためにも速やかな更新が必要です。このことが、枚方市駅周辺の再整備を進めなければならない最も重要なポイントなのです。民間開発誘導志向で、経済波及効果や賑わい創出などにやっきになり、まちづくりの方向性を見誤ってはいけなとと考えています。

まずは、暮らしの安全・安心。今号では、枚方市役所と枚方消防署のダブル移転の問題等、9月・12月の議会で取り上げた質問の一部(概要)を報告します。お読みいただき、ご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。



▲9月録画映像



▲12月録画映像

## 現在と将来の市民のためになる判断を

～ダブル移転のゴリ押しにNO!!

老朽化し、耐震性能も確保されていない築53年の枚方消防署本署庁舎の更新、並びに訓練施設の整備は、必要かつ緊急の課題です。枚方市の消防力の適正配置を考えると、本来なら現在地の隣接地域(⑤街区)で具体化されるべきところ、昨年8月、枚方市は、約2km(直線距離で約1,4km)離れた現禁野小学校・旧中宮北小学校跡地への遠隔地移転建て替えを提案しました。

枚方市役所庁舎を現在地の④街区で更新するのではなく、北河内府民センター跡地を含む⑤街区に移転することに固執するため、必要な用地を確保できない。だから、枚方消防署庁舎及び訓練施設を現在地隣接の⑤街区ではなく、遠隔地への移転建て替えを提案する。～このような**ダブル移転のゴリ押し**は、現在、そして将来の枚方市に大きな禍根を残すのではないかと考えます。移転する必要のない枚方市役所庁舎を⑤街区に移転しようとするから訓練施設を含む枚方消防署庁舎の建て替え敷地が確保できないというのは全くの本末転倒です。



とにかく、いま、使える場所に建てるというのではなく、市民の安全・安心を第一に考え、この先の枚方市を守り抜く消防署があるべき場所をしっかりと

考えるべきです。だとすれば、高層建築物が集積し、滞留人口が多い市街地を含み、淀川河川敷から中南部方面にかけての地域を所管する枚方消防署の建て替えは⑤街区内に土地を確保して早急に取り組まなければならないのです。

適正な消防・救急・救助体制を確立するという立場から枚方市との協議に臨んでいただくよう、12月23日開催の枚方寝屋川消防組合議会において要望しました。



▲消防組合議会



奥野みか ホームページ・フェイスブック

～皆さまのご意見・ご要望もお聞かせください～

<https://okuno-mika.com>

<https://www.facebook.com/mika.okuno.338>



### ■ 防災公園整備エリア

・一時的な避難場所のみならず、広域的な避難場所としても対応できる高度な防災・減災機能を備えた「防災公園」の整備を求めます。

枚方市役所庁舎  
枚方消防署庁舎

私の  
**ダブル移転 対案**

### ■ 市役所新庁舎整備エリア

・大規模災害に備えるということが本市の最優先課題です。  
・災害対策の拠点となる市役所新庁舎は、広くて、高度な防災・減災機能を持つ「防災公園」に隣接して整備されることが、最も合理的です。  
・平時においては、子どもを大切にし、子育てのしやすいまちであることが実感できる機能や施設が集積された子育て・子育て支援機能拠点などの複合施設の整備を求めます。発災時には、その施設が、防災関連の諸機能をバックアップし、公園と一体となった防災支援拠点になります。



▲旧北河内府民センター  
※「対案A」は、枚方市駅周辺再整備基本計画(改訂版)の道路・建物配置を活用した、枚方市役所庁舎と枚方消防署庁舎の移転案です。意見を出し合い、異なる「対案B」も考えてみませんか。

枚方市役所庁舎を  
現在地周辺へ(④街区)  
枚方消防署庁舎を  
現在地隣接へ(⑤街区内)

### ■ 消防・警察署整備エリア

・訓練施設や高度化された消防・救急・救助機能を備える枚方消防署新庁舎が求められます。広域連携を可能にするヘリポートも必要です。  
・エレベーターのある、あたりまえの合理的配慮と、優れた機能を有する新しい枚方警察署が集積する地域づくりを連鎖的に進めるべきです。



④街区の86%は市有地(20,000㎡)です。ここを民間事業者に開発させたいから枚方市役所庁舎は北河内府民センター跡地(⑤街区内)に移転する。市庁舎を⑤街区内に移転することにしたから枚方消防署に必要な3,500㎡が確保できず、遠隔地に移転する。これって、市民のためになる賢い選択でしょうか!?



### 市の案

枚方市役所庁舎(④街区)を  
北河内府民センター跡地へ(⑤街区)  
枚方消防署庁舎を  
旧中宮北小学校跡地へ(遠隔地移転)

**ダブル移転 さい押し**

【④街区 23,300㎡】  
一般地権者3,300㎡、市20,000㎡

**NO!!**  
複合(商業)施設+タワマン?  
民間に任せる?  
**公益に反する!?**

**遠い!!**  
枚方消防署新庁舎(訓練施設)  
直線距離で約1.4km先  
現禁野小学校(旧中宮北小学校跡地)

**NO!!**

【⑤街区 16,400㎡】  
一般地権者700㎡、国4,000㎡  
府7,700㎡、市4,000㎡

市役所  
庁舎

# 1

## 劣化が進む危険建築物の一刻も早い解体・撤去を

### ▶④街区の「防災公園」に隣接して再整備を

#### 議会質問・要望のポイント

④・⑤街区の土地区画整理事業は、都市再生に資する事業で、災害に強い市街地の形成等を図るため公費を投入する価値がある、高度利用しないと市は説明しています。しかしながら、人口減少に向かう今、高層マンションや、店舗構成も持続性も不明な民間商業ビルを誘致するために、土地区画整理事業と称して④街区の都市インフラ整備に多額の公費を投入するのは**無駄**以外の何ものでもありません。

旧市民会館本館及び大ホール棟、職員会館、市庁舎本館・別館など、劣化が進む危険建築物を一刻も早く解体・撤去し、優先順位を明確にして、必要性の高い公共施設の建て替えを迅速かつ段階的に行うべきだと考えます。



#### 奥野の**考え**

- いつまでも残しておくから、老朽化した公共建築物の無駄な維持管理コストを支出するハメになっています。
- 南海トラフ大地震などの大規模災害に備え、劣化が進む危険公共建築物は一刻も早い解体・撤去が求められます。
- 自治の拠点であり、災害対策の拠点となる市役所庁舎は、平時にはさまざまな年代の人々の憩いと楽しみ場となり、発災時には防災拠点となるフェーズフリーの「防災公園」に隣接して整備することが最も効果的です。

# 2

## 隣接の公有地等を活用し、早急な建て替え検討を

枚方  
消防署

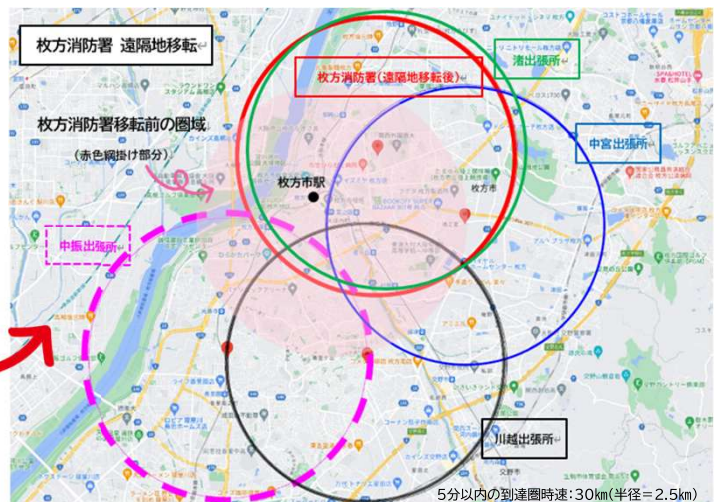
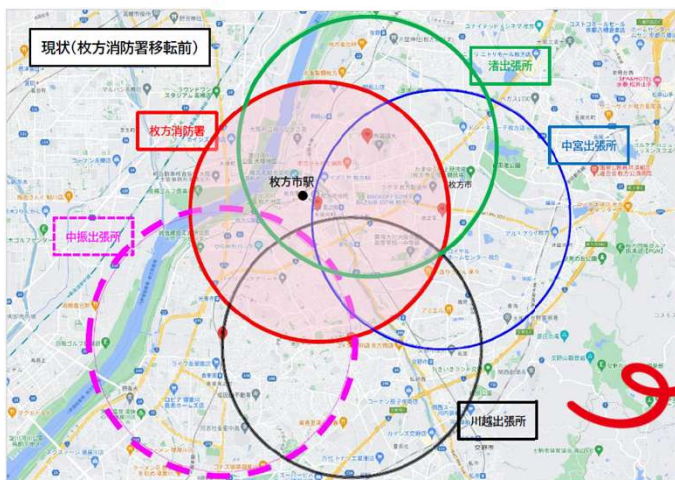
### ▶遠隔地移転ではなく隣接地で整備を

#### 議会質問・要望のポイント

枚方消防署及び訓練施設に必要な敷地面積3,500㎡を現在地の隣接の⑤街区内に確保するのは難しいとの理由で、中宮北小学校跡地への遠隔地移転案が報告されました。現在位置から移転すると、現枚方消防署がカバーしている圏域は**すっぽりと抜け落ち**、移転後の圏域は現渚出張所の圏域と重複することになります【下図参照】。枚方市駅周辺には高層建築物も増え、滞留人口も多くなり、中心市街地の防災力のさらなる向上が求められます。必要な面積を確保できるよう⑤街区の活用計画を見直すべきではないでしょうか。

#### 奥野の**考え**

- ⑤街区に市役所新庁舎を設置する条例案が議会において明確に否決され、まだ事業着手に至っていないのですから、隣接地である⑤街区の市有地・公有地等を移転候補地として、枚方消防署及び訓練施設を早急に整備できるよう、枚方市駅周辺再整備基本計画を再検討するべき。
- 中南部・南西部地域における救急体制の増強が喫緊の課題とされている中、枚方消防署の遠隔地移転にはまったく合理性がありません。**高度化された市街地消防体制を弱体化**させてしまいます。



# 教えて

## 枚方市駅周辺再整備 Q&A



Q

広大な市有地を手放して、民間に開発を委ねる（民間活力の導入）ことで、まちの魅力は高まるのでしょうか。

A

- 貴重な市有地を活用すべきことがたくさんあるにもかかわらず、手放して民間開発を誘導するというのなら、どんな開発なのか、目的や内容、意義、実現可能性や持続可能性などが市民によほどしっかりと説明されなければなりません。
- 高度利用のできる地区に対する民間デベロッパーの開発意向はタワマンであることは明らかで、土地区画整理事業もそれを前提にしていると考えられます。タワマンの誘致でまちの魅力は高まらないと思います。

Q

老朽化した危険建築物が増えています。市役所新庁舎はいつできるのですか。

A

- ⑤街区の新庁舎整備（計画案）の場合、都市計画決定及び事業認可が2026（令和8）年度までに行われた場合、2034（令和16）年度の供用開始を市は想定しているようです。
- ④街区の新庁舎案の場合は、国・府と確認した方針から大きく変更となるため、大幅に遅れると答弁していますが、市有地の中での段階的な庁舎移転になるので、早急に進めることが可能です。

Q

枚方市駅周辺にさらに商業施設を増やして、本当に活性化するのでしょうか。

A

- 枚方市駅前市街地再開発事業（サンブラザ1～3号館）、岡本町市街地再開発事業（ビオルネ）も厳しい経過でした。
- ③街区の市街地再開発事業（枚方モール）の評価はこれからになりますが、民間活力で、④街区のさらなる商業集積・賑わい創出は「時代遅れの発想」ではないでしょうか。

Q

DXが進み、行かなくていい市役所になることが本当に望ましいのでしょうか。

A

- 市役所庁舎は、届け出や手続きをするための単なるオフィスではなく、自治の拠点です。市民が「来る・集う・対話する」ための場であり、市民のもとへ出向く【アウトリーチ】拠点でもあります。手続きの簡素化・効率化の検討は必要ですが、DXに対する幻想には要注意です。
- 災害対応の拠点でもある市庁舎は、防災機能を有する大規模公園と隣接させ、さまざまな活動が有効に展開できるようあらかじめ準備しておくことが大切です。

## 決算特別委員会（10月）～さまざまなズルズル・ダラダラ・グダグダに意見～

経常収支比率は年々悪化しており、本市財政の硬直化は進み、財政状況としては予断を許さない状況です。そのような中、市民の皆さんからお預かりした貴重な税金を賢く使い、健全な自治体財政を持続的に続けていくためには、適切な評価や説明責任が必要不可欠です。決してズルズルと施策・事業を始めたり、ダラダラと継続してはなりません。そのような姿勢で施策・事業を進めると、必ず、さまざまな手続きがグダグダになってしまいます。そういう考え方をベースに決算審査に臨みました。

4月に発生した庁舎本館外壁落下事故に始まる一連の手續きについては、予備費充用の緊急工事が会計年度をまたぐこととなり、予備費充用の予算を翌年度に

繰り越すというグダグダの手續きとなっていました。また、ズルズル、ダラダラと老朽施設（第3分館）の維持管理経費（存続対策）に年間3,000～4,000万円もかけていることについても質しました。

学校施設整備は、熱暑災害とも言える環境の中、教室等空調設備DBO事業による一斉更新からも除外されている留守家庭児童会室の校舎外専用棟の空調設備や、男女共用トイレや和式便器が残る現状の早急な改善を求めました。（※9月の一般質問でも取り上げました。）

病院事業では、看護師確保のための取り組みや魅力ある病院づくりに向けての取り組みを確認し、持続可能な経営基盤の構築を図るよう要望しました。



▼9月の一般質問▲



▲総務・教育子育て



▲市民福祉・建設環境



▲特別・企業会計

